

*データのご利用にあたって

- ・データポリシー JAMSTEC
- ・データ責任者 情報管理部署
JAMSTEC / BPPT joint cruise in the Indonesian waters.
- ・データの利用制限 データ利用の制限については 注意事項 をご参照ください。
- ・引用方法 データの引用については 注意事項 をご参照ください。

品質

Raw

観測機器

機器名

船上三成分磁力計



概要

本データは、三軸(船上座標：h(+船首側),s(+右舷側),v(+船体下方)のリングコア型フラックスゲート磁力センサーにより計測した磁力値から、地磁気異常値を算出したものである。データを公開するにあたり、船体磁場の影響を取り除くため8の字航走したデータから補正係数を算出し補正を行っている。もし、当該航海にて8の字航走を行っていない場合は、当該航海より以前の航海で最も近い期間に行われたデータを用いている。さらに、一定の基準で信頼性の低いデータを除去する品質管理（下記参照）を行っている。なお、地磁気異常値を算出するために使用する標準磁場は、国際標準地球磁場(IGRF)を使用している。

計測装置

1) 計測部

- メーカー： 有限会社テラテクニカ
- 型式： SFG1214
- 測定範囲： $\pm 100,000\text{nT}$
- 絶対精度及び安定性： 100nT 以内
- 分解能： 1nT
- 設置場所： ドライラボ

2) センサー部

- メーカー： 有限会社テラテクニカ
- 方式： リングコア型フラックスゲート
- 設置場所： フォアマスト

3) 水平姿勢計・方位計

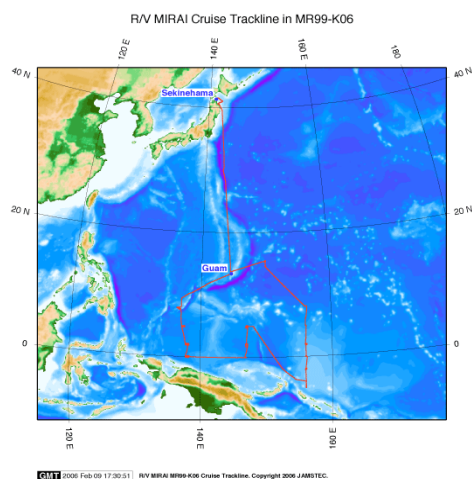
- メーカー： Honeywell
- 型式： DRUH
- 精度： Roll, Pitch : $\pm 0.03^\circ$ 以内
Gyro : $\pm 0.06^\circ$ 以内
- 設置場所： ドップラーレーダードーム内

このデータについて

機器異常等のため、このデータについては処理を行いません。

Rawデータの提供を希望される方は「dmo@jamstec.go.jp」にお問い合わせください。

関連情報



MR99-K06

船舶名：

みらい

期間：

1999/10/13 - 1999/11/18

主席/首席：

安藤 健太郎（海洋科学技術センター）

課題名：

「みらい」ドップラ-レーダによる、西部熱帯太平洋の発生期台風内等におけるメソ降水系の観測的研究

「みらい」搭載ドップラ-レーダをもちいたTRMM/PRの検証

TRMM衛星及びDMSP衛星と同期させたドップラ-レーダ観測

ライダー-(レ-ザ-レーダ)による太平洋域における大気境界層、対流圏エアロゾル、雲の観測

太平洋赤道域における地球温暖化の原因物質に関する観測研究

地球物理観測データを用いた海洋底ダイナミクスの解明に関する研究

熱帯赤道域の観測研究

熱帯太平洋を横断する大気オゾンの経度-高度断面の観測

STCM Corrected フォーマット

No.	カラム	項目	表示書式	単位	備考
1	1 - 8	日付	i4,i2,i2		YYYYMMDD (UTC)
2	10 - 15	時刻	i2,i2,i2		hhmmss (UTC)
3	17 -25	緯度	f9.5	度	南緯は-マイナスで表記
4	27 -36	経度	f10.5	度	西経は-マイナスで表記
5	38 -43	X成分地磁気異常値	f6.0	nT	北向き正
6	45 -50	Y成分地磁気異常値	f6.0	nT	東向き正
7	52 -57	Z成分地磁気異常値	f6.0	nT	鉛直下向き正
8	59 -64	全磁力地磁気異常値	f6.0	nT	